

2020年度『遺伝子工学実験』アンケートの結果

【結果のまとめ】

1

この授業は、シラバスの到達目標に示された能力が身につくような内容でしたか？（自分が身につけたかどうかは別の質問で尋ねますので、ここでは「そういう授業であったかどうか」を教えてください）

平均ランク ↓

	1	2	3	4	5
--	---	---	---	---	---

NO 1 << >> 5 YES 4.5

回答	1	2	3	4	5	合計
NO 1 << >> 5 YES	1 (4%)	0	0	9 (33%)	17 (63%)	27

2

この授業で、教員は、受講生の学問的関心や知的好奇心を高めるように授業を進めたと思いますか？

平均ランク ↓

	1	2	3	4	5
--	---	---	---	---	---

NO 1 << >> 5 YES 4.6

回答	1	2	3	4	5	合計
NO 1 << >> 5 YES	1 (4%)	0	0	8 (30%)	18 (67%)	27

3

この授業で、教員は、受講生の理解度や能力、興味や関心を確認しながら授業を行ったと思いますか？

平均ランク ↓

	1	2	3	4	5
--	---	---	---	---	---

NO 1 << >> 5 YES 4.6

回答	1	2	3	4	5	合計
NO 1 << >> 5 YES	0	1 (4%)	0	7 (26%)	19 (70%)	27

* 設問 1～3 については、高い評価をいただいたと思います。

4

この授業で、教員は、受講生にわかりやすい授業をするように努めたと思いますか？

平均ランク ↓

1 2 3 4 5

NO 1 << >> 5 YES 4.6

回答	1	2	3	4	5	合計
NO 1 << >> 5 YES	1 (4%)	0	0	7 (26%)	19 (70%)	27

5

この授業で、教員は、受講生の意欲・自主的な学びを引き出すための工夫をしたと思いますか？

平均ランク ↓

1 2 3 4 5

NO 1 << >> 5 YES 4.5

回答	1	2	3	4	5	合計
NO 1 << >> 5 YES	0	1 (4%)	0	11 (41%)	15 (56%)	27

6

この授業の Moodle は使いやすかったですか？

平均ランク ↓

1 2 3 4 5







NO 1 << >> 5 YES 3.8

回答	1	2	3	4	5	合計
NO 1 << >> 5 YES	1 (4%)	2 (7%)	7 (26%)	8 (30%)	9 (33%)	27

- * 設問 4 と 5 についても、高い評価をいただいたと思います。
- * Moodle が使いやすかったかという質問に対しては高い評価と低い評価がありました。コロナのせいで急遽準備したこともあるかと思います。具体的なアドバイスをくれた人もいましたので、来年度の Moodle サイトに活かしたいと思います。

7

あなたは、この授業の予習や復習にトータルでおよそ何時間を使いましたか？

回答	平均	合計
1～3 時間	 4%	1
3～6 時間	 15%	4
6～9 時間	 22%	6
9～12 時間	 15%	4
12 時間以上	 44%	12
Total responses to question	 100%	27/27

8

この授業は一部をオンライン課題で、一部を対面で行いましたが、1単位の実習として、授業の分量は適切だったと思いますか？

平均ランク ↓

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

NO 1 << >> 5 YES  3.9

回答	1	2	3	4	5	合計
NO 1 << >> 5 YES	0	2 (7%)	7 (26%)	9 (33%)	9 (33%)	27

9

この授業では、手を動かす実験の時間数が少なかったですが、実験の手技は身についたと思いますか？

平均ランク ↓

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

NO 1 << >> 5 YES  4.0

回答	1	2	3	4	5	合計
NO 1 << >> 5 YES	1 (4%)	1 (4%)	4 (15%)	12 (44%)	9 (33%)	27

- * この授業のための予習・復習の時間が長かったことは教員にとっては喜びです。
- * 設問 8 について、「授業の分量が適切だったか？」という問いは、「適切でない」の真意が「多すぎた」のか「少なすぎた」のかが判別できない問い方でした。失敗！
- * 設問 9 については、う～ん。まずまず、このくらいなら満足すべきでしょうか…。

10

あなたは、この授業の到達目標を（一つでも構いません）達成できたと思いますか？

平均ランク ↓

	1	2	3	4	5	
NO 1 << >> 5 YES						4.3
回答	1	2	3	4	5	合計
NO 1 << >> 5 YES	1 (4%)	0	1 (4%)	13 (48%)	12 (44%)	27

11

総合的に考えて、この授業に満足しましたか？

平均ランク ↓

	1	2	3	4	5	
NO 1 << >> 5 YES						4.5
回答	1	2	3	4	5	合計
NO 1 << >> 5 YES	1 (4%)	0	0	9 (33%)	17 (63%)	27

12

来年度の授業を改善するための、建設的なアドバイスを記述してください。

回答者

回答

	実験器具操作の説明が実験中になかったのが良かったです。
	特にありません。
	実習の前後の、学生が行わなかった内容の簡単な動画などがあれば、よりわかりやすいと思いました。
	代表者によって行われた作業(試薬作りなど)は、立候補制でもよかったが、くじ引きとかにしたほうが全員がよりしっかりと予習してくるのではないかと感じた。
	来年度は、どのようになるかわかりませんがグループに分けて少人数で行うことができたので実験の際にわからないところをTA、SAの先輩方や先生に質問がしやすかったり、実験操作のアドバイスをもらいやすかったです。また少人数な分だけ学生に目を通しやすいので危ない操作や誤った操作をしていた場合指摘もしやすいのかな？とも思いました。実習形式が従来の形式に戻ればグループに分ての実習は難しいとは思いますが良かったと思う点としては少人数で行えたことです。
	説明の時間がもっと短くてもいいのではないかと感じました。
	特にありませんでした。

来年度はどういった形で実験が実施されるかわかりませんが、対面で行われることを想定したとき、遺伝子操作系の実験では特に待ち時間を有効的に使うことが我々学生にとっても教員にとっても必要なのではないかと思います。

とても楽しかったです。

特に改善してほしいところはあります。

改善してほしい点は特にはありませんが、強いて言うなら実験日の間が2日よりも短い方が良かったです。そういう決まりでしたら幸いです。

レポートの書き方が少し分かりにくかったように感じました

今回は少人数で行ったこともあり、全員がサンプルを作ることが出来たので来年もこのような形の方が一人一人が実際に操作を行うことが出来るので良いのではないかと思います。

組み換えに用いたEGFP遺伝子をプラスミドに挿入する工程も見え良かったです。

今回の実験は1週間空けて二日かけて行いましたが、もう少し短いスパンで行った方が良かったのではないかと思います。記憶が新しい内に次の過程に行く方がレポートも書きやすいし、理解も早いのではないかと思います。

予習にも力をかけるような授業だったので身につくし、良かったと思います。

今年は、コロナ対策で通常とは異なることも多かったとは思いますが、私は今授業は非常に満足いく授業であったと感じました。ただ残念なのは、実験中に生徒同士で意見交換をしたりアドバイスをしてもらったりなどの機会が少なかったことです。一つのグループの人数が少なかったので仕方ないですが、来年度は実験内でそういった機会があればより充実すると感じました。

ありがとうございました。

前半の予習課題は今回の実験を行う上で非常に重要で、解説まで付いていたのが非常に良かったと思った。しかし、WebテキストのコロニーPCRに関する問題に関しては特に予習問題もなく、解説もなかったため、これについても最初の予習課題の中に加えておくと、否が応でもやると考えられるので、全員がPCRに関して十分理解した上で実験に臨めるのではないかと思います。

また、(新型コロナウイルスの影響ではあるけれども...) 今回の実験ではリコンビナントタンパク質の発現は実施できなかったが、目的タンパク質の大量発現の手法はこれから先の研究で利用する機会がよくある重要な手法であると思うので、来年度の実習では是非実施していただきたいと思った。もしくは、実施できない場合はリコンビナントタンパク質の発現のみといった手法で発現させるのかを、音声付きのPowerPointファイルか同期型の講義で解説していただくと、理解を深められるのではないかと思います。

私は今まで通りで大丈夫だと思います。

前の方に座っていたが、先生の説明が聞き取りづらかったり、見えにくかったりした場面が少しあったので、ご配慮いただけるととてもありがたく思います。

今年度の授業はコロナ対応ということもあり、異例の形での開講となったが、それなりに上手く進んだかのように思う。moodleを利用した予習課題によって時間外での事前学習がしやすかったことや、Teamsを利用した予習課題の解説や塩基配列解析におけるポイントの解説では、生で行うことで質問をその場でしやすかったように思う。（自分は生での参加ができなかったのですが、具体的に言えないが）来年度の授業においても、こうした対面での実験とオンラインでの部分を上手く活用出来たらいいのではないかと感じた。

コロナ禍での対応で日程的に仕方なかった部分もあったと思うのですが、塩基配列の決定法の実習の翌日に行った操作の手伝いが別の実験と重なってしまいいけなかったので今後特殊な事例で変則的な実験予定になるときがあった場合、せめて同じ学科の実験と予備日や手伝いだけの日も含めて日程が被らないようにしていただければ操作等の経験を得る機会を失わないで済むかと思いました。

丁寧にご指導いただいただけでなく、自身の学習意欲等も高まったと感じていますので、改善点などは特にはありません。

アナウンスメントではなく、配布資料や予習課題のところに、健康確認票やwebテキストのURLを載せた方がまとまりがあって分かりやすいと思います。

集中講義のように2週間の土曜に分けた実験にして集中的にやるのもありなのでは？と思いました。

Moodleで事前の予習ができたことは実験の理解に役立ったのでよかったですと思います。

特にありません。

* たくさんの具体的な意見や提案、アドバイス、ありがとうございました。次年度に活かしたいと思います。